



糸東小だより

やさしく かしこく たくましく

9月号 No.6

令和3年9月22日

校長 猪又千恵子



バランス

数年前に、自然観察会に参加した時の話です。

講師が、私が見たことのない虫を見付けました。図鑑で調べてみたら、その虫の正体が分かりました。図鑑に載っている生物が、「本物」として眼前にいることの感動は、何年たっても忘れられません。

学校の教育活動では、「本物」との出会いがとても大切です。1年生は本物のヤギを迎え、本物の命と向き合っています。2年生は、世話を怠れば枯れてしまう野菜を育てています。他の学年も、自分の体、五感を使って実感を伴った学びを目指しています。

一方、学校では iPad が児童全員に一台ずつ貸与され、ICTを取り入れた教育活動が本格稼働しています。タブレットの活用により、児童の学習や教師の指導法の幅がグンと広がってきました。一斉に同じものを見たり、みんなに見せたいものを瞬時に配信したりすることができます。録音もでき、メモもでき、一体この一台でどこまでのことが可能になるのでしょうか。本当に便利な道具です。

自分の五感を駆使して学びを深める本物体験と、居ながらにして時間や空間を越えて多くの事象を知る仮想現実、どちらが大切かと問われれば、「どちらも」大切です。

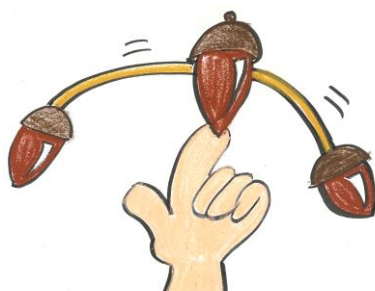
要は、バランスです。本物体験が大切なことはわかっているけれど、実際にできることは限られており、検索や模擬体験で補うことがたくさんあります。でも、なんでもかんでもネット検索で情報を得たり、ネットで人とつながろうとしたりすることには危うさを感じます。



体にいいからと言ってそればかり食べていても効果があがらないのと同じです。栄養バランスを考えて日々の食事を整え、おいしくいただくことを心がけたいです。また、日々の取組や物の考え方等に偏りがある場合があります。私の場合、偏りに気付かせてくれるのは、周囲の人の様子や意見であることが多いです。自分の行動や考えに異を唱えられた時、とても落ち込みます。腹が立つこともあります。でも、冷静になって考えてみると、そこには私の行き過ぎや及ばなさがあるのです。



歩荷が歩いた塩の道を実際に歩いて大変さを実感した4年生



やじろべえ

心に「やじろべえ」をもち、バランスを失ってどちらかに傾き過ぎていないか自己点検することを心がけたいです。ICTばかりに頼らず、本物に触れることの大切さを忘れずに、これからの時代を背負って立つ人を育てることを念頭に置き、バランス感覚をもって学校教育を進めていきたいと思えます。

「やじろべえ」は、指でちょっと突くと、右に左に揺れながらも、しばらくするとちゃんと安定したところで止まります。

9月22日の持久走大会に向けて



左の写真は、体育の時間に持久走練習をしている1年生のスタートの瞬間です。前掲姿勢に、やる気が感じられます。スピード感も伝わってきます。

持久走は、苦しいです。苦しいからやらない「楽」ではなく、苦しいけれどやりとおした達成感からくる「楽しさ」を味わってほしい。それが、持久走大会を行う価値だと考えます。夏の暑さが去り、秋空が広がるこの時期に、心と体を鍛える機会として位置付けています。

持久走大会は、その価値に迫るために、その日までの過程に重きをおいています。体育の時間のほかに「チャレンジタイム」と称して20分休みの5分間走を行っています。本番だけ順位や記録がよいのではなく、そこに向けて努力を続ける態度を大切にしたいです。

このシーズンには、放課後や休日にグラウンドや校舎周りのコースで走り込みをする親子、仲間の姿がたくさんみられます。意欲に脱帽、そして感動します。

走る子どもたちは、スタート直前までマスク着用、ゴール後は呼吸を整えてからマスク着用、走っている時はマスクを外します。また応援席とコースを仕切り、児童と応援の方々を混ざらないようにします。それらの対策を講じたうえでの開催です。どうか開催できますように。

第2回学校運営協議会の報告

特別警報発令により、時間を短縮して実施しました。

8月31日(火)、今年度第2回学校運営協議会を開催しました。学校評価の説明の後、委員の皆様から当校の教育活動や児童の様子についてご意見をいただきました。

今回は、とても耳の痛い内容でした。

学校評価の結果；「進んで挨拶している」の肯定的評価は、児童が96%、保護者77.5%でした。これに対し、委員からは、「地域では、進んで挨拶しているとは言えない」との声があがりました。校内では、「いつでも、どこでも あいさつ」を目指し、「おはようございます」「こんにちは」「きょうなら」の声が飛び交います。でも、地域では、大人が挨拶をしても返してくれない人もいるとのこと。切ないことですね。

学校では、全校集会で伝えたり、学級や学年ごとにとり組内容を考えて実行したりと、繰り返し意識付けを図っています。その成果が見られたと感じることもあり、習慣化してきたと思われる児童もいます。社会に出て困らないように身に付けてほしいと願っています。

あきらめるわけにはいきません。大人による率先垂範声響く糸魚川東小学校区を目指しましょう。

9月14日(火)に実施したのびのび集会で学んだ内容

職員による寸劇から、気持ちのよい挨拶、いやな気持ちになる反応などを感じ取りました。どの子も分かっています。行動あるのみです。



糸魚川東小を支える～地域、家庭の底力

アルミ缶回収の成果

右の写真は、当校の中央廊下に掲示してあります。今年度初めに6年生全員による金管バンドの維持に向けて、アルミ缶回収による利益の目標を「コルネット1台10万円」に設定して、成果を視覚化したものです。

PTA活動として毎月期間を決めて実施している活動に加え、1学期末からは各地区会館等や当校児童玄関入り口に回収用トン袋を常設することにしました。

その成果もあり、8月の収入で目標額10万円を超え、9月の収入は一か月の収入としては最高額である**35,460円**となりました。

今後は、児童による自主的活動が本格化する見通しです。

近所のお宅に「アルミ缶があったらください。」とお願いに伺いながら、礼儀や言葉遣い等を学ぶ機会とします。糸魚川東小学校児童の社会性と自主性の育成に、是非ご理解とご協力をお願いします。



月	集まったお金	合計
5月	28,475円	28,475円
6月	17,225円	45,700円
7月	24,728円	70,428円
8月	32,040円	102,468円
9月	35,460円	137,928円
10月	円	円
11月	円	円
12月	円	円
1月	円	円
2月	円	円
3月	円	円

夏休み～親子で学校美化 1 いいね！

学校日より8月号でもお伝えしましたが、今年度も夏休みの親子清掃を「親子で学校美化 1 いいね」として実施しました。夏休み中、都合のよい時間帯に学校をきれいにする活動をし、終わったらカードに日付、名前、活動内容を記入してもらいました。



夏休み中も随時カードを貼っていきました。夏休み終了後、数えてみると224枚。PTA数は211世帯ですので、2回以上通ってくださった方が何組もあるということです。

2学期が始まってすぐに校地を歩いてみると、夏休み前には草がたくさん生えていたところはきれいに土が見えていました。校舎内をまわっていると、外側から磨かれたガラス窓が透明感を増し、とてもさわやかな気持ちになりました。



先日、6年生が糸魚川東小学校創立時のお話をお聞きする機会がありました。是非とも全員に金管演奏を経験させたいとの思いから、地域住民の皆さんから寄付を募ってくださり、今があるとの話を伺い、今の自分たちにできることややるべきことを改めて考えていました。地域とともにある糸魚川東小学校への愛着がますます湧きました。



10月の予定

- 1日(金) 5年生林業学習(14:00~15:45)
3年生校外学習(能生ジオサイト)(8:45~15:30)
アルミ缶回収(~7日)
- 4日(月) 給食委員会マナーチェック週間(~8日)
- 5日(火) 糸魚川中学校体験入学⇒中止
- 6日(水) 6年生出前授業(医療関係者、5限)
- 7日(木) まがたまクラブ⑤
- 11日(月) 16日(土)の糸東小まつり前日準備振替休業日
- 13日(水) メディアコントロールデー
- 14日(木) 委員会活動⑩
- 16日(土) 糸東小まつり全校リハーサル(8:40~11:20)
糸東小まつり前日準備(6年生 13:40~14:25) 全校児童15:00下校
糸東小まつり受付準備(推進委員 15:30~16:00)
- 17日(日) 糸東小まつり(8:30~11:15)、全校児童12:00下校
- 18日(月) 17日(日)の糸東小まつり振替休業日
- 19日(火) Q-U検査
- 21日(木) 1年生校外学習(美山公園)、まがたまクラブ⑥
- 22日(金) 朝清掃、わかくさ班ふれあいタイム(13:35~13:50)
- 26日(火) 全校集会(13:35~13:50)
- 27日(水) 歯科検診②、メディアコントロールデー
- 28日(木) 糸魚川市小中特別支援学校音楽発表会
(5年生参加、8:30~10:00)
- 29日(金) 5年生PTA親子活動(14:00~15:45)



お知らせ

糸魚川市教育委員会から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から通知がありました。陽性判定を受けた児童生徒が当校する際に、右に示す「療養解除届(新型コロナウイルス感染症用)」を学校へ提出するという内容です。

つきましては、当校ホームページに登校許可証と同様に掲載しますのでお知らせします。

秋の交通安全~安全な暮らしの実現

日暮れが早くなってきました。交通事故に遭わぬよう、児童のヘルメット着用、交差点での安全確認の徹底、早めのライト点灯等を心がけ、安全な日常が続くよう、みんなで気を付けましょう。

秋分の日を過ぎると夜が少しずつ短くなってきます。

別添4 療養解除届(新型コロナウイルス感染症用)(例)記入例

学校長 様

県立〇〇高等学校
1年 1組
児童生徒氏名 新潟 花子

療養解除届(新型コロナウイルス感染症用)

上記の者は、新型コロナウイルス感染症にて加療等をしておりましたが、令和3年2月12日をもって療養解除となりましたので、本届を提出します。

令和3年2月11日(記入日)
保護者氏名 新潟 太郎

保護者の方へ

- ・保健所から療養解除の連絡があった時に、学校に連絡し、登校する際に、本届をお子さんに持たせてください。
- ・日付は、保健所から療養解除の連絡があった日を入れてください。
- ・本届は、保護者等が記入するものです。保健所に記入を求めないでください。保健所から受けた指示のとおり記入してください。
- ・保護者等が記入できない場合は、学校職員が上記内容を保護者に電話で確認などの対応をとります。記入できるようになったら、速やかに学校に提出してください。
- ・学校内でクラスターが発生した場合には、療養解除について、学校と保健所が直接連絡を取り合う場合があります。

療養解除届(新型コロナウイルス感染症用)